

特別支援学級（知的障害）

知的な発達が遅れているため、通常の学級における指導だけでは能力や可能性を十分に伸ばすことが難しい子どもたちを対象に設置しています。

この学級では、教科の指導や特別活動など学校生活全般にわたって指導の工夫がされています。個別的な指導や小集団での指導を行ったり、教科によっては通常の学級で学習する機会を取り入れたりしています。また、学校行事、学年行事などでの活動も大切にしています。

また、教室環境についても、指導が行き届くように、机や教具の配置を工夫しています。手洗い場やプレイルームの設置など、施設や設備に工夫がなされている学校もあります。

1 指導方針

子どもの姿をよく見つめ、子どもたちの力をできる限り伸ばしていくために、今、何をどのように学習すればよいのかを考え、学校生活の中で繰り返し体験させながら、指導していきます。一人一人に寄り添い、きめ細やかな指導を行います。

2 指導内容

(1) 各教科等を合わせた指導

各教科、道徳、特別活動及び自立活動の一部または全部を合わせて行う指導のことです。日常生活の指導、生活単元学習、作業学習などの時間があります。

① 日常生活の指導

基本的な生活習慣や、あいさつ、言葉遣い、時間を守る、きまりを守るなどの日常生活や社会生活において必要な基本的な内容を身につけるための学習です。

② 生活単元学習

いろいろな体験を通して生活に必要な知識や能力を身につけるための学習です。年中行事や季節に合わせて活動したり、栽培学習、買い物学習、調理、体力づくりなどをしたりします。

③ 作業学習

主に中学校で実施している学習です。ものを作る過程において材料の数量計算や購入の方法、できあがった製品を販売する場合の対応の方法と代金やおつりの計算など、日常生活に必要な知識や態度もあわせて指導しています。栽培・陶芸・木工・紙工芸・竹細工・刺繍・スキルビーズ・組みひもなどが行われています。

(2) 教科の学習

教科の学習は、日常生活に必要な内容や身近なことからを中心に、一人一人の能力に応じて小集団で指導しています。使用する教材や教具は子どもの能力や興味・関心を考慮して選び、繰り返し学習することによって力をつけていきます。

子どもの理解の程度や状態に応じて、通常の学級で学習することもあります。

(3) 自立活動

言語、運動、時間概念など、知的な発達の遅れに伴って学習や生活において困難となっていることについて、改善・克服しようとする教育活動です。

(4) 交流及び共同学習

子どもの実態に応じて、教科の学習や給食・清掃・クラブ活動、学校行事などで、通常の学級の子どもたちと一緒に学ぶ機会を設けています。